

「高崎芸術劇場」が素晴らしい

篠崎 辰夫

昭和 30 年(1955 年)公開の映画「ここに泉あり」のモデルとなった「群馬交響楽団」の活動拠点「群馬音楽センター」が、老朽化のため代わりに 2019 年、上信越・北関東最大級の音楽と舞台芸術の殿堂「高崎芸術劇場」として生まれ変わりました。

その「高崎芸術劇場」に、関西の名門「大阪フィルハーモニー交響楽団」が来るというので行ってきました。ちょうど新型コロナオミクロン株の感染が急拡大を始めた時ですが、感染予防が徹底されて開催されました。

まず、最初のラフマニノフのピアノ協奏曲で、冒頭のピアノの音が鐘のようにホールに響き渡りびっくり。心が震えるような、これまで経験したことのない音響に圧倒されてそのまま引き込まれていった。ホール、音響、楽団、ソリスト、指揮者、聴衆が一体となった素晴らしい演奏会でした。

終了後、指揮者の尾高忠明さんが聴衆の前で「ここにきてリハーサルで音を出してびっくりした。音響が素晴らしい。大阪にもいいホールがあるが、このホールを大阪に持って帰りたい」ということを話されていた。本当に素晴らしいホールです。

比較的近くに、こんなに素晴らしいホールがある。もう東京まで足を運ばなくていい。早速次のチケットも予約しました。「群馬交響楽団」も応援しよう。

<国内最大級の舞台を誇る 臨場感あふれる高機能ホール 客席 2,027 席>



ホール内部（客席から）

（公式ホームページより抜粋）

帰り、高崎駅で電車の出発を待っていると、楽器を抱えた楽員が数人飛び乗ってきた。近くに座ったので会話を聞いていると、明日仕事があるのでこれから新宿に出て高速夜行バスで大阪に帰る人や東京に泊まる人など、にぎやかに会話がはずんでいた。あのホールでさぞかし演奏する方も気持ちがよかったのではないだろうか。電車を降りる際ふと目が合い、向こうから会釈をしてくれた。コンサートのプログラムを手を持っていたので気づいたのだろう。こちらからも「素晴らしかったです」と返しました。あとあとまで、心に残るひとときでした。

高崎芸術劇場公式ホームページ <http://takasaki-foundation.or.jp/theatre/>

高崎芸術劇場へは、JR 高崎駅（東口）から屋根付きの歩道橋が、ホールまでずっといざなってくれます。徒歩6分ほど。

高崎芸術劇場メンバーズに登録すると、大変便利です。

- ・メールで最新の公演情報や先行販売の情報が届きます。
- ・チケットがインターネットから座席を選んでいち早く購入できます。
（決済はカードで、チケットの受取りはコンビニから）

高崎芸術劇場メンバーズに登録は こちらからどうぞ。登録・年会費無料です。

<http://takasaki-foundation.or.jp/theatre/membership.php>

「群馬交響楽団」 公式ホームページ

<http://www.gunkyo.com/>

(2022/01/15)